

ジャステイス新潟

不変の正義と民主化された労働運動を求めて！



ジェイアール・イーストユニオン
新潟地方本部 執行委員長 船山 勝広

新年あけましておめでとうございます。

新しい年の始まりに、期待を込めた明るいご挨拶をとも思うところではありますが、まずは昨春の発生から留まる先の見えぬ、「新型コロナウイルス感染症」について語らなければなりません。感染拡大を防ぐため密集・密接・密閉の、いわゆる三密を避けることや、企業におけるテレワークの推進など人の往来を抑える政策が必須とされる中で、人の移動が経営の主体となる運輸観光業は大きな痛手を受けています。わが社の中間決算も、去年の黒字から一転して2643億円の赤字となりました。ただ、この状況下においても公共交通機関の使命を全うすべく、現場最先端で、今この時も奮闘されている組合員の皆様を、誇りに思うとともに感謝申し上げます。

感染症拡大にともない人々の生活も大きく変化していき、わが社の経営状態もコロナ以前に戻ることはないと言われています。社長が『変革2027』実施の必要性が突然目の前にやってきた」と言うように、変革を漸進させていく環境は一気に崩れ去り、厳しい条件下での推進が急がれる状況となりました。私たちはこの変革に対しては反対するものではなく、むしろ協力を惜しまないと考えています。しかし、この状況を盾として「何でもあり」というような、高圧的に負担のみを社員に押し付けてくるようであれば、断固として議論を求めていかねばなりません。安全の確保についても同様に考えます。

私たちジェイアール・イーストユニオンは、この難局を労使一体となって乗り越えるべく、職場実態の把握・分析、改善提案などを記した『会社と共に』をJR連合とともに作成しました。変革に必要なのは社員の力『マンパワー』です。それが職場においてどのような状況になっているか、これから会社を担う若い社員が何を考え、どのように会社・職場を思っているのかということ、冷静に分析できるのは職場に溶け込む労働組合の立場からと考えます。私たちはこの提言を基に、「風通しが良く、笑顔で競い合える職場の構築」を目指していきます。その結果は自ずと経営にも反映され、このさき末永く発展していく会社になると信じています。

今冬はすでに山間部で大雪に見舞われ、雪害対策に感染症対策と大変な時期を迎えておりますが、健康には充分ご注意ください。このような状況下ですが、本年が組合員とご家族の皆様、また日頃よりご支援助けくださるOBや関係者の皆様にとりまして、少しでも心穏やかな年となりますようにお祈り申し上げます。年頭にあたってのご挨拶といたします。本年もよろしくお願ひ致します。ともに頑張りましょう！

令和三年一月吉日

ジェイアール

・イーストユニオン

新潟地方本部役員

執行委員長 船山 勝広

執行副委員長 斎藤 修

事務局長 池田 庄一

執行委員 高橋 基逸

執行委員 金田 友稔

執行委員 鈴木 雅明

執行委員 南雲 春彦

執行委員 新保 浩

執行委員 日水 浩

執行委員 渡辺 敏昭

執行委員 藤原 光男

会計監査 藤原 光男

どうぞよろしく

お願い申し上げます